

## 実践保育学科 特色ある科目

### ボランティアに学ぶ / ボランティア演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

様々なボランティア経験を「ボランティアに学ぶ」「ボランティア演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」として単位化し、その体験から自主性・公共性・奉仕の精神を身につけ、自己実現を図る態度を学びます。学生自身もつ発想力や自分力を引き出し、将来を担う子どもたちと真剣に向き合う保育者を育てていくことを目指します。

### 大学で学ぶ / 社会人になるには (キャリア教育)

学生が、短大での生活に適応し順調な学生生活を送ることや将来の就職にむけての基礎学力等の学力向上をさせること、さらに社会人としての心構え等の養成をねらいとしている。即戦力となる保育者の育成をめざすために、実習に向かう姿勢や実践力の養成に重点を置いた取り組みをしています。

### コミュニケーション英語 a b

幼児教育と保育に関係する英語を中心にコミュニケーションのとり方を学びます。園児と保育者の間で交わされる会話を想定して特別な言い方や特別な単語を覚えます。授業のなかで幼保英検の合格に向けた対策も行います。

グローバル化する社会で活躍できるように外国語に親しみ、これからの多文化共生社会に備えていきます。

### 在宅保育

乳幼児の生活の基盤である家庭での保育を行うことです。この態様が「家庭訪問保育 (在宅保育)」とよばれています。子育て家庭への個別的な保育ニーズに対応するため、在宅保育の基本的な考え方、ベビーシッター・マネジメントやケア等について学び、柔軟でよりきめ細やかな知識や技術を習得していきます。

### 子どもの音楽

音楽は子どもの遊びには欠かせないものです。感性を磨き、心と体の成長のために大きな力を与えてくれます。保育の現場でのピアノの演奏は、子どもとのコミュニケーション手段の一つとして、大変表現力豊かで、楽しいものです。

個々の進度に応じてピアノの個人指導を受けることができるので、無理なく技術を高めていくことができます。2年間の中で多くの曲に触れながら、アレンジする力をつけることも目指します。